

1. 参加者内訳

区分	人数	割合
行政	8名	19.5%
小学校（義務教育学校前期課程）	19名	46.3%
中学校（義務教育学校後期課程）	14名	34.1%
合計	41名	100.0%

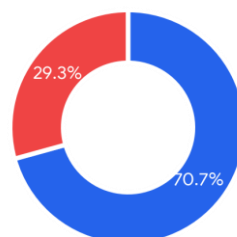
【研修評価ハイライト】

研修1 高評価率（参考になった + ある程度）：100%
（参考になった 70.7%）

研修2 高評価率（参考になった + ある程度）：100%
（参考になった 67.5%）

2. アンケート結果

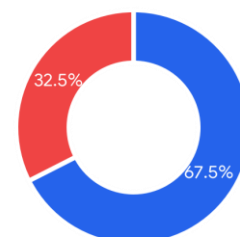
研修1 評価



■ 参考になった:29名(70.7%)

■ ある程度:12名(29.3%)

研修2 評価



■ 参考になった:27名(67.5%)

■ ある程度:13名(32.5%)

3. 研修会の感想（抜粋）

(1) 地域コーディネーターの必要性・配置への期待

- ・地域コーディネーターの必要性や役割について理解を深めることができた。
- ・地域コーディネーターが配置されている体制に魅力と必要性を感じた。

(2) 持続可能な地域連携・仕組みづくり

- ・他校の実践を聞き、自分が異動した後も継続できる体制づくりの重要性を改めて感じた。
- ・地域連携を持続可能なものとするためには、後継者を育成する仕組みづくりが必要であると感じた。

(3) 地域連携・協働教育への理解と実践意欲

- ・今後、地域とどのようにつながり、協働していくかを考えるよい機会となった。
- ・地域学校協働活動に向けて一歩踏み出そうという意欲が高まり、校内においても積極的に活動内容を発信し、話題にしていきたいと感じた。

(4) 他校事例・美里町の実践からの学び

- ・美里中地域連携室の実践を知ることができ、大変参考になった。
- ・学校の負担軽減を図るためには、行政や地域の人材が学校運営に積極的に関わる体制づくりが重要であると感じた。

(5) 対話・ワールドカフェの効果

- ・地域の方々ともこのような対話の機会を設けることで、より深い協議につながると感じた。ワールドカフェは意見を出しやすい手法であると実感した。
- ・町職員と教員が対話する機会は大変有意義であり、多様な立場の方との意見交換を通して新たな視点を得ることができた。

(6) 地域とのつながり・協働の考え方

- ・学校だけでなく、地域にとってもメリットのある協働関係を築くことが重要であると感じた。
- ・「地域にしてもらう」のではなく、「地域と一緒に取り組む」という発想が大切であり、学校が地域に貢献する視点の重要性を学んだ。

(7) 地域人材・地域資源の活用

- ・教員の専門性を生かすとともに、地域人材を把握・活用する体制づくりが地域の活性化につながると感じた。
- ・地域ボランティアの募集を通して、地域人材そのものが地域資源であることを改めて認識した。

(8) 課題・不安・働き方改革との両立

- ・地域内のつながりが希薄化している現状を改めて認識した。
- ・地域学校協働活動を持続可能なものとするためには、教員だけに負担を集中させない体制づくりが必要であると感じた。